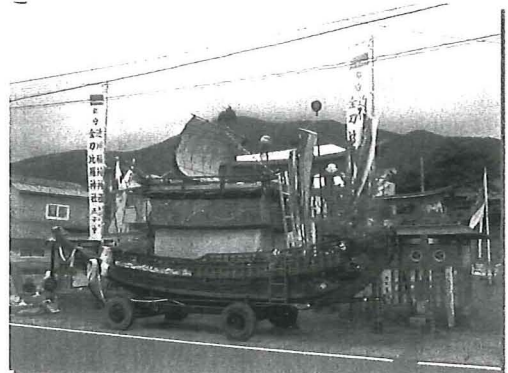


人・仕事・“あずましさ”を増やすプロジェクト
＝大湊リノベーション計画＝
(ダイジェスト 版)



まちづくり倶楽部

人・仕事・“あずましさ”を増やすプロジェクト
＝大湊リノベーション計画＝

ボランティアグループ
まちづくり倶楽部

「2040年の人口推定」

★2010年 むつ市の人口は61,000人

↓ ▲23,000人、37.7%

☆2040年 むつ市の人口は38,000人

★20～39歳 女性人口 2010年 6,100人

↓

☆2040年 女性人口 2,560人 ▲58.0%

《歴史》

○大湊は♪後に釜臥山、前には安渡湾♪

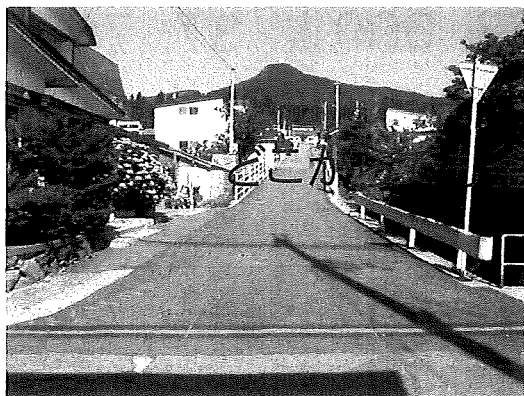
★昔から、北前船、北洋漁業、警備府、原子力船



静かな海と“そこにある”ものを使って生きてきた。

《景観》

★大湊は伏流水と坂道が多い

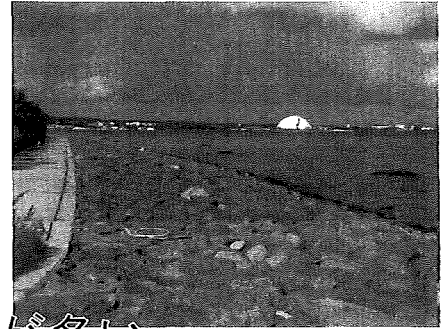


釜臥山が望める絶景である

《街歩き》

★街歩きから見えること

- 空き地・空き家・空き店舗が多い
- ロケーションの良い所が多い
- 歴史と景観に気付く
- このままではいけない事に気づく



《意見交換・・・みんなの話で気づく事①》

1. 子育て世代・・・いろんな事にお金がかかる
2. 学校と仕事・・・戻って来る前提がない
3. 若い世代・・・参加も含め、住民自治意識が低い
4. 親世代・・・Uターンさせるには懐が必要だ
5. 介護・・・お金がかかる。人材が足りない。
コミュニティで解決できる所が多い

《意見交換・・・みんなの話で気づく事②》

6. 下北観光・・・地元が盛り上がる必要がある。
7. 人口減と高齢化社会・・・コミュニティービジネスの展開
8. 故郷を離れて・・・親や親戚・実家の事が心配
9. 行政・・・やるべき事が多すぎて、お金が続かない
10. まだやれる・・・研究施設を誘致。住システムの構築。コミュニティーの再構築。

《まちづくりアンケート調査》

☆コミュニティーに関するアンケートから

- 空き家バンク(で一元管理)が必要
- 移住・住み替えなどの住システムを構築する
- コミュニティービジネスの展開
- 高校生と専門学校の必要性
- 助け合いでお金のかからない生活
- 20歳代～40歳代の積極的な住民参加

《空き家調査》

空き家調査から（大湊上町・浜町・新町・大平町）

- 空き地が非常に多い
- 見えそうな空き家は思ったほど多くない。
(93件)
- 見えそうな空き店舗は多い。(44件)
- 見えそうな空き施設（21件）

《大湊リノベーション計画：人を増やす①》

人を増やすには・・・？

- 高校の卒業生などを流出させない。
→→原子力エネルギー、海洋、福祉などの
研究施設または専門学校・学科の創設
又は誘致

《大湊リノベーション計画：人を増やす②》

人を増やすには・・・？

•戻ってくるための情報提供

→→学校過程で、地元の必要な人材と職種
の情報提供。キャリア教育の見直し

《大湊リノベーション計画：人を増やす③》

人を増やすには・・・？

•移住者(又は住み替え)、長期滞在型観光者
を増やす

→→住システムによるアーバンコテージ(UC)
の開発

《大湊リノベーション計画：人を増やす④》

人を増やすには・・・？

- 中心商店街周辺に人口誘導
→→商店街活性化を兼ねて、インセンティブも含め優先的に進める

《大湊リノベーション計画：仕事を増やす①》

仕事を増やすには・・・？

- コミュニティービジネス(CB)を立ち上げる
→→“あずましさ”や元気づくりにもつなげる。

《大湊リノベーション計画：仕事を増やす②》

仕事を増やすには・・・？

• 景観で稼ぐ

→→そこにあるものを(手を加える)磨く。

景観条例、街の色・素材の統一、湧き水、
坂道・・・

《大湊リノベーション計画：仕事を増やす③》

仕事を増やすには・・・？

• 研究施設を誘致する

→→原子力の研究室(大学機関)など
海洋科学研究機構の真砂町移転
恐山の金の研究室など

《大湊リノベーション計画：仕事を増やす④》

仕事を増やすには・・・？

- 空き家・空き店舗ビジネス

→→ 空き家をUC(アーバンコテージ)にリノベーション

空き店舗を小店舗・専門店に(開業者をスカウトする)

《大湊リノベーション計画：あずましさを増やす①》

あずましさを増やすには・・・？

- コミュニティーの再構築にむけて

→→ 住民自治力アップへつなげる

- 町内会 親子で参加イベントの開催

- 坂道を使った防災活動と遊び

- 町内会活動の若い世代の役割分担の確立

《大湊リノベーション計画:あずましさを増やす②》

あずましさを増やすには…?

- 健康で生き活きた街に
 - QRコード等を使った街歩きプログラム
 - 街歩きしながら、
自分の地域の歴史や景観などを知る

《大湊リノベーション計画:あずましさを増やす③》

あずましさを増やすには…?

- 高齢者世帯や子育て世代の見守りシステム

《大湊リノベーション計画：あずましさを増やす④》

あずましさを増やすには・・・？

●中央公民館周辺の“オガール”化構想

→→歩いて用事が足せる。

病院やスポーツ施設で健康的な生活が送れる。

高齢者・子育て用住宅が整備されている。

来年度以降やるべき事① → 協働先

■人・仕事を増やす為に

→(協働先) トム・スペック、行政、商店街

- 空き家(景観ビジネス兼ねる)対策として

アーバンコテージ(UC)建設を推進する。(平成28年～)

- “住”システム加速・推進のため中心商店街又は行政と

インセンティブについて協議する。(平成28・29年)

- むつ中央公民館周辺の“オガール”化構想推進のための

具体的調査・研究(平成28年～)

来年度以降やるべき事② → 協働先

■人・仕事を増やす為に

→(協働先) 行政、関係団体

- 原子力、海洋科学、金などの研究機関を調査する。(平成28年～)
- 学校、教育関係者との情報交換。(平成28年)
- 景観ビジネスなどについてワークショップやアンケートを行う。
(平成28年)
- QRコード等を使った街歩きの推進(情報提供)(平成28年)

来年度以降やるべき事③ → 協働先

■“あずましさ”を増やす為に

→(協働先) トム・スポーツクラブ

- コミュニティービジネスのマーケティングを行う。(平成28年)
- 親子参加のイベントを開催する。(平成28年～)

“住”システムとは・・・？

- 我が地域にとっても“人口減”は危機的状況である。人口減は何かにつけてネガティブな状況に追い込まれ、地域の希望に結びつかない。我われ建築設計関係者で、この問題にどう向き合うか？同時に、疲弊している地域は空き家問題も抱えている。この“空き家”をストックとして、“人口減”を集中化と交流人口増に充てる事で、この問題を解決方向に向かわせるために考案したのが“住”システムである。

■“住”システムで行う事

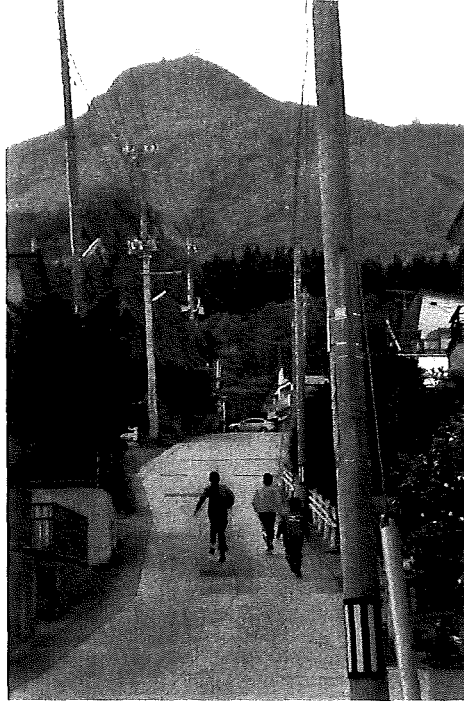
- 移住、住み替え、近居、仕事、観光などに使う住宅の賃貸・管理と販売など
- UC(アーバンコテージ)の建設と公開
- 高齢者世帯、子育て世帯の見守り
- インセンティブを付与
- その他

Urban Cottage (アーバンコテージ) の設計要件 = For 空き家のリノベーション =

- UCとは・・・アーバンコテージの略称で、大湊地区の空き家の子育て世帯や長期滞在型の賃貸物件にリノベーションする建物。賃借・販売を目的にしながら、空き家の減少、人口の集中と増加、景観の創造などに寄与するアクションである。

中央公民館周辺オガール化構想について

- 中央公民館周辺のオガール化構想とは・・・当該周辺は高齢者世帯が多く、大湊小学校へ通う児童も非常に少ない、典型的な少子高齢化地域である。ロケーションに恵まれた空き地が多く、周辺にはスポーツ施設、高齢者住宅展示場、診療所、公園などがある。オガール化構想は、スマートウエルネス住宅(高齢者・子育て住宅・UC含む)を推進しながら居住人口を増やし、歩いて用事が足せて、健康的な生活を継続できるように、複合的な用途をこの周辺に集中させるプロジェクトである。



まちづくり倶楽部

この事業は、公益財団法人 むつ小川原地域・産業振興財団の助成を受けて行いました